

【授業実践振り返りカード】 7月

学校名	本郷小学校	学年	1年生
授業者氏名 佐野 登			
題材名 「 6歳臼歯の磨き方を学ぼう 」			
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 給食後の歯みがきの習慣が身についてきた子どもたちが、 お口の健康学習会で歯科衛生士の方の話を聞いて、ものを食べるときの歯の役割や姿勢の大切さについて知ることを通して、 健康な歯の維持・食べるときの姿勢に気をつけることに対する意識を高めることができる。			
学習材 お口の健康学習会における歯科衛生士の方の話とスライド			
成 果 ・ 歯科衛生士の方に、食べるときの姿勢がいかに大切であることを教えていただき、給食を食べる際に、姿勢を意識しようとする子が見られるようになってきた。			
課 題 ・ 意識が薄れないように、日頃からこまめに声かけをしていく必要がある。学校生活の中だけでなく、家庭生活の中でどれだけ意識させられるかが課題である。 子どもだけでなく、家庭への啓蒙も大切である。			

学校名	本郷小学校	学年	2年
授業者氏名 辰野 亘			
題材名 「 休み中はどのタイミングで歯磨きをする? 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 歯みがきの音楽や講演会の話などから正しい歯の磨き方や口の健康の大事さを学んだ子どもたちが、 長期休みに入ったときの生活リズムに着目し、 1日の中で歯みがきをするタイミングを考えることを通して、 休みの日でも口の健康を維持していこうとする意識を高めることができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等) 夏休みの計画表、夏休みのきまり			
成 果 〇家の人とも1日のリズムを確認することで、歯みがきに取り組む時間をはっきりさせていくことができた。			
課 題 〇計画作りが子どもたちには難しかったようなので、簡略化したり、書く場所をよりはっきりさせたりして、意識が計画作りだけにそがれない工夫が必要。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 守屋久美	
題材名 「レッツ パタから！」リコーダーで楽しく取り組もう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 パタカラ体操の効果を再確認した子どもたちが、 リコーダーのタンギング “トゥ” もパタカラの「た」と同じように舌が上あごに着くことや唾液が出ること、また口まわりの筋肉を使うことに着目し、 少しマンネリ化してきたパタカラ体操と「リコーダー演奏を組み合わせよう」「みんなに聞いてもらおう」と、意欲をもって取り組むことができる。	
学習材 ・パタから体操の楽譜 ・リコーダー運指表	
成 果 ・リズムに乗って楽しく挑戦する姿が見られた。リコーダーが少し苦手と感じている児童も聞き慣れているので、抵抗なく取り組めそうな様子がある。 ・リコーダーを吹く際にも、舌の位置を確認し、しっかりとしたタンギングになった児童もいた。 ・パタから体操がさらに身近になっている。「レッツ パタから！」いろいろな方法で広めていくことができそう。	
課 題 ・口の動きということで、リコーダー演奏のみならず合唱にもつなげていけそうである。教科のねらいも大切にしながら取り組んでいきたい。	

学校名	本郷小学校	学年	4年
授業者氏名 塩澤 佑樹			
題材名 「 歯の健康を保つために 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 今月行った歯みがきチェックの結果を知った子どもたちが、 改めて自分たちの給食のときの過ごし方に着目し、 クラスでより歯みがきが定着のためにできることを話し合うことを通して、 歯を衛生的に保つ生活習慣の素地を培うことができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・歯みがきチェックの結果（4年1組）			
成 果 ・ 今回の歯磨きチェックの結果が、歯を衛生的に保つ習慣を身に付けるために、現時点でこのクラスがどの立ち位置にいるのかを客観的に示すものであった。そのため、結果を基にした話し合いでは、真剣にこのクラスの歯磨き習慣についての課題を解決しようと考えを話す子どもたちの姿が何人か見られた。			
課 題 ・ 今まで歯を衛生的に保つための取組を継続的に行ってきたが、形骸化しているものがあると感じられた。 ・ 教師からのメッセージ発信も大切にしつつ、歯磨き習慣の形成に意欲的な子どもたちからの働きかけから、歯磨き習慣の土台を今一度作っていきたい。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 夏休みに向けて歯と口の健康を守る生活を考えよう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 歯周病や正しい歯みがきについて学んだ子どもたちが、 自分の歯みがき習慣や生活習慣を振り返り、夏休みの歯みがきカレンダーを活用した健康づくりの目標を考えることを通して、 自ら健康な口腔環境を維持するために生活習慣を改善する力を培うことができる。	
学習材 歯みがきカレンダー 歯科指導で使用した資料	
成 果 ・6月の歯科指導を振り返ることで、歯周病予防には毎日の歯みがきを継続することが大切であることを改めて確認することができた。 ・夏休みは生活リズムが変化することを踏まえ、自分に合った歯みがきの目標や続けるための工夫を考える姿が見られた。 ・歯みがきカレンダーに取り組む目的を共有したことで、「毎日忘れずに磨きたい」「家族にも声をかけてもらいたい」など、継続への意欲をもつ児童が多く見られた。	
課 題 ・夏休み中は学校での声かけがなくなるため、目標を立てるだけでなく、実際に継続できたかを2学期に振り返る機会を設ける必要がある。歯みがきカレンダーの結果を活用し、自分の生活習慣の課題を見付け、改善方法を考える学習へと発展させることで、主体的な健康づくりにつなげていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	6 学年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 「縄文時代の生活は」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 縄文時代の人々の衣食住について学習した子どもたちが、 縄文時代の歯や口のケアはどんなものがあつたのかに着目し 予想したり、調べたりすることを通して 縄文時代の人々は甘いものを食べなかったことや固いものを食べていたことで現代人よりも歯が丈夫だったことに気が付き、甘いものの食べ過ぎは歯に良くないことや、固いものをよく噛んで食べることは歯にとってよいことであると気づくことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 縄文時代の人々の暮らし 資料集 教科書	
成 果 縄文時代は、歯ブラシや歯磨き粉が無いため、現代人よりも、虫歯が多いはずと思った子どもたちだったが、縄文時代の人々の方が、虫歯が少なかったことに驚いていた。その秘密には、甘いものを食べなかったことや、固いものを食べていたことで歯が丈夫だったということを知り、歯を丈夫にするために大切なことを学習することができた	
課 題 歯ブラシ、歯磨き粉への興味関心を次へつなげていきたい。	